

2021年度教育研究活動報告書

所属	人文学部 人文学科	職名	講師	フリガナ	ミズマチ アイ	生年月	1980年3月
最終学歴	佐賀大学教育学研究科教科教育専攻音楽教育専修 修了			氏名	水町 愛	学位	修士（教育学）
専攻分野	音楽教育						
担当科目	器楽Ⅰ、器楽Ⅱ、器楽Ⅲ、器楽Ⅳ、器楽Ⅴ、保育実践演習、チャイルドケア・ゼミ、保育内容の理解と方法						
所属学会	なし						
I 教育活動							
	教育実践上の主な業績			年月日		概要	
2014	1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）						
	(1)出席カードの活用			2014年4月1日～2015年3月31日		出席カードにより出席を管理するとともに、講義の感想および質問や意見を 学生が記入する時間を確保し、毎時間 回収した。この内容を確認すること で、学生の理解を深めるとともに授業改善にも活かした。	
	(2)実技発表会の実施			2014年4月1日～2014年3月31日		「器楽Ⅲ」「器楽Ⅳ」「器楽Ⅴ」において、音楽実技の様々な学習成果を 発表させる機会を数多く設けた。発表と 鑑賞および相互評価の経験を重ねることを通して、ピアノ演奏や歌唱等における個々の表現技術を向上させ、保 育・教育現場での実践力を身につける ことに活かした。4年生では卒業演奏 発表会を実施したが、4年間の集大成の発表を1～3年生にも鑑賞させたことにより、相互の意識を高めることに 繋げることができた。	
(3)全国童謡歌唱コンクールに向けての取り組み			2014年4月～2014年9月		「器楽Ⅳ」において、弾き歌いに必要な発声を含む歌唱表現法を取り扱った。個々の歌唱力や表現力を磨くこと を目的とするため、個別に童謡課題を 与えてこれに取り組ませ、チャペルでの発表会を行った。さらに、全国童謡 歌唱コンクール（日本童謡協会主催） 第一次テーブル審査		

			へのエントリーを目標に掲げたことで、目的意識や意欲を高めることにも繋がった。結果として、一組（二名）の学生がテープ審査に通過し、九州大会に出場した。また、その後のこどもフェスティバルにおいては、歌唱力の向上がオペレッタの演技にも生かされた。
2016	(1) 出席カードの活用	2016年4月～2017年3月	出席カードにより出席を管理するとともに、講義の感想および質問や意見を学生が記入する時間を確保し、毎時間回収した。この内容を確認することで、学理解を深めるとともに授業改善にも活かした。
	(2) 実技発表会の実施	2016年4月～2017年3月	「器楽Ⅲ」「器楽Ⅳ」「器楽Ⅴ」において、音楽実技の様々な学習成果を発表させる機会を数多く設けた。発表と鑑賞および相互評価の経験を重ねることを通して、ピアノ演奏や歌唱等の様々な表現技術を向上させ、保育・教育現場での実践力を身につけることに活かした。4年生では卒業演奏発表会を実施したが、4年間の集大成の発表を1～3年生にも鑑賞させたことにより、相互の意識を高めることに繋げることができた。
2017	(1) 出席カードの活用	2017年4月1日～2017年10月27日	出席カードにより出席を管理するとともに、講義の感想および質問や意見を学生が記入する時間を確保し、毎時間回収した。この内容を確認することで、学理解を深めるとともに授業改善にも活かした。
	(2) 実技発表会の実施	2017年4月1日～2017年10月27日	「器楽Ⅲ」「器楽Ⅳ」「器楽Ⅴ」において、音楽実技の様々な

			<p>な学習成果を発表させる機会を数多く設けた。発表と鑑賞および相互評価の経験を重ねることを通して、ピアノ演奏や歌唱等の様々な表現技術を向上させ、保育・教育現場での実践力を身につけることに活かした。4年生では卒業演奏発表会を実施したが、4年間の集大成の発表を1～3年生にも鑑賞させたことにより、相互の意識を高めることに繋げることができた。</p>
2018	(1) 出席カードの活用	2018年12月1日～2019年2月10日	<p>出席カードにより出席を管理するとともに、講義の感想および質問や意見を学生が記入する時間を確保し、毎時間回収した。この内容を確認することで、学生理解を深めるとともに授業改善にも活かした。</p>
	(2) 実技発表会の実施	2018年12月1日～2019年2月10日	<p>「器楽Ⅲ」（および「器楽Ⅴ」）において、音楽実技の様々な学習成果を発表させる機会を数多く設けた。発表と鑑賞および相互評価の経験を重ねることを通して、ピアノ演奏や歌唱等の様々な表現技術を向上させ、保育・教育現場での実践力を身につけることに活かした。4年生では卒業演奏発表会を実施したが、4年間の集大成の発表を1～3年生にも鑑賞させたことにより、相互の意識を高めることに繋げることができた。</p>
2020	(1) 小レポートの活用	2020年4月1日～2021年1月31日	<p>毎時間の授業の後に課する小レポートにより出席を管理するとともに、講義の感想および質問や意見を学生が記入する時間を確保した。毎時間この内容を確認することで、学生理解を深めるとともに授業改善にも活かした。また、次の授業回の冒頭で</p>

<p>(2) 実技発表会の実施</p>	<p>2020年4月1日～2021年1月31日</p>	<p>前時の小レポートの記載内容を紹介し共有することにより、学習意欲を高め合う雰囲気づくりにも繋がった。</p> <p>「器楽Ⅲ/Ⅳ/Ⅴ」において、音楽実技の様々な学習成果を発表させる機会を数多く設けた。発表と鑑賞および相互評価の経験を重ねることを通して、ピアノ演奏や歌唱等の様々な表現技術を向上させ、保育・教育現場での実践力を身につけることに活かした。3年生の歌唱発表会や4年生の卒業演奏発表会など、感染予防のため実施できなかったものもあるが、遠隔授業においても方法を工夫しながら他学生の相互の意識を高めることに繋がった。</p>			
<p>(3) 音楽経験値の差が影響しない評価方法</p>	<p>2020年4月1日～2021年1月31日</p>	<p>入学時点で学生の音楽実技の学びにおける経験値は個人差が大きいことから、経験値の差による学習意欲の差が生じることのないよう留意した。課題等はレベルを複数設定するほか、評価の観点も経験値に由らない項目を設定し、予め受講生に伝えるなど工夫した。</p>			
<p>2 作成した教科書、教材、参考書</p> <p>なし</p>					
<p>3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等</p> <p>なし</p>					
<p>4 その他教育活動上特記すべき事項</p> <p>なし</p>					
<p>II 研究活動</p>					
<p>著書・論文等の名称</p>	<p>単著・共著の別</p>	<p>発行又は発表の年月日</p>	<p>発行所又は発表雑誌等の名称 (巻・号数を含む)</p>	<p>編者・著者名 (共著の場合のみ記入)</p>	<p>該当ページ数</p>
<p>1 著書</p> <p>なし</p>					

2010	2 論文 (1) 「音楽科教育における読譜指導についての研究」	単著	2010年7月	九州ルーテル学院大学紀要VISIO第40号		9
2014	(2) 「幼保系養成校における総合的カリキュラムに関する成果と課題—本学保育コースの取組—」	共著	2014年12月	九州ルーテル学院大学紀要 VISIO 第44号	白樫静枝、金戸清高、井崎美代、水町 愛	12
2021	(3) 「和音と旋律（音）の協和感について—幼稚園教諭・保育士養成課程におけるコード伴奏法の指導の課題—」	単著	2021年9月	九州ルーテル学院大学紀要VISIO第51号		5
2021	(4) 「子どもの主体性を育む音楽表現活動実践に向けて」	単著	2021年12月	九州ルーテル学院大学紀要VISIO第52号		5
2022	(5) 「音楽活動・教育は共感・向社会的行動の発達を促進させるか? : 研究レビューと理論的検討」	共著	2022年3月	心理・教育・福祉研究第22巻2号	◎久崎 孝浩、水町 愛	17
2012	3 その他 (1) GRUPPE-WA 第6回 サロンコンサート	ピアノ独奏	2012年5月	場所：MUSICASA（代々木上原） 曲目：ピアノ・ソナタ第27番ホ短調 Op. 90 第1楽章／ベートーヴェン		
2012	(2) 国分寺市市民音楽祭	ピアノデュオ	2012年10月	場所：国分寺市立いづみホール（国分寺市） 曲目：幻想曲へ短調 D. 940／シューベルト	水町 愛、白石久美子	
2012	(3) ピアノデュオコンサート～アドリアン・コックスを迎えて～	ピアノデュオ	2012年11月	場所：熊本市男女共同参画センター（熊本市） 曲目：幻想曲へ短調 D. 941／シューベルト、舞踏への勧誘 Op. 65（2台8手）／ウェーバー	アドリアン・コックス、水町愛 ※ A. コックス；ウィーン国立音楽大学教授	
2013	(4) GRUPPE-WA 第7回 サロンコンサート	ピアノ独奏	2013年5月	場所：MUSICASA（代々木上原） 曲目：「楽興の時」D. 780より 第1番 ハ長調, 第2番 変イ長調, 第3番へ短調／シューベルト		
2014	(5) GRUPPE-WA 「アドリアン・コックスと仲間達」	デュオ（2台ピアノ）	2014年11月	場所：熊本市健軍文化ホール 曲目：二台ピアノのためのソナタニ長調 KV. 448／モーツァルト	アドリアン・コックス、水町愛	

2017	(6)GRUPPE-WA 第11回 サロンコンサート	ピアノ独奏	2017年5月	場所：MUSICASA（代々木上原）曲 目：「アラバスク」ハ長調 op.18/ R.シューマン	
III 社会的活動					
	年月日	委員、講演テーマ・研修会、賞・表彰等の名称			所属、委託 団体、授与 機関等の名 称
	1 職務専念義務免除による活動 なし				
	2 公開講座、講演、研究会活動				
2014	2014年11月8日	こころの時代を考えるセミナー 「こどもと音楽～豊かな体験が心の育ちに与えるもの～」			熊本公德会
2016	(1)2016年9月30日	高校出張講義			熊本県立小 国高校
	(2)2016年10月20日	高校出張講義			熊本県立八 代清流高校
2019	2019年4月	「子育て支援員研修」講師			熊本市健康 福祉局子ど も未来部幼 稚園課
	3 社会的表彰 なし				